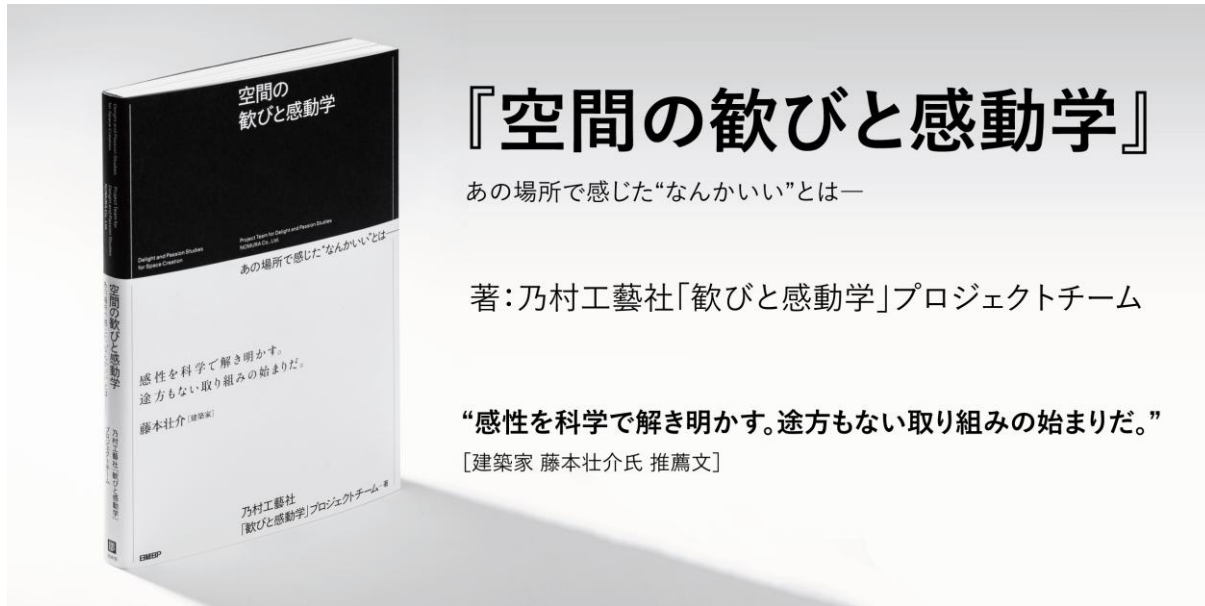


乃村工藝社「遊びと感動学」プロジェクトチーム著
『空間の遊びと感動学』 出版



『空間の遊びと感動学』

あの場所で感じた“なんかいい”とはー

著：乃村工藝社「遊びと感動学」プロジェクトチーム

“感性を科学で解き明かす。途方もない取り組みの始まりだ。”

[建築家 藤本壮介氏 推薦文]

博覧会や商業施設、オフィスなど多様な空間づくりを130年以上手掛けてきた乃村工藝社では、人と空間の関わりを、学術的・科学的に解き明かす挑戦を続けてきました。この度、「空間における遊びと感動とは何か」という根源的な問いに挑む新しい研究の記録を、日経BPから出版します。

“美しい”だけでは伝わらない。“機能的”だけでは足りない。
空間が人の心を動かす理由を、感性と科学の両面から検証する

乃村工藝社は、空間に宿る力が、どのように人の感情や行動、記憶、持続的な満足につながるのかを明らかにするために、「人についての研究」「空間についての研究」「人と空間の相互作用」という3つの軸から、科学的・学術的なアプローチで探究をしています。空間と人の感情や行動についての、多彩な研究を通して見えてくるのは、空間の無限の可能性です。空間づくりに携わる人、そして空間を利用する人に伝えたい、新たな視点と創造のヒントが詰まった一冊となっています。ぜひ手に取ってご覧いただければ幸いです。

書籍概要

タイトル	『空間の遊びと感動学』
発行	乃村工藝社「遊びと感動学」プロジェクトチーム
出版社	日経BP
発売日	2025年10月20日
仕様	単行本（ソフトカバー） 216ページ／A5／日本語
定価	2500円（税別）
ISBN	ISBN 978-4-296-20819-7
Amazonサイト	https://www.amazon.co.jp/dp/4296208195#detailBullets_feature_div

乃村工藝社「歎びと感動学」プロジェクトチーム

乃村工藝社は「空間創造によって人々に『歎びと感動』を届ける」というミッションのもと、空間がもたらす時間・体験を通じて社会へ新たな価値を届けられるよう努めている。本チームは、「空間における『歎びと感動』とは何か？」という問いを、人々の行動・心理の観点から科学的に分析・検証することで「歎びと感動」を学術的に研究。創業130年で培った空間デザインのノウハウに科学的・学術的アプローチを加え、将来的には学問として社会に実装し、より豊かな社会の実現を目指すチーム。また、デザイナー・プランナー・営業・制作管理・バックオフィスなど、多様な専門性を持つ人材によって組織されており、職種を超えた視点で研究・開発に取り組んでいる。

内容詳細

長い通路を抜けたあと、視界が広がるあのなんとも言えない気持ちよさ。カーテンの色ひとつで空間の印象が一変する不思議さ。木のぬくもりや素材の感触に、ふと心が和らぐ瞬間――。様々な空間を訪れた時、「なんかいい」と感じることはありませんか？

本書は、博覧会や商業施設、オフィスなど多様な空間づくりを130年以上手掛けてきた乃村工藝社が、「空間における歎びと感動とは何か」という根源的な問いに挑む新しい研究の記録です。空間に宿る力が、どのように人の感情や行動、記憶、持続的な満足につながるのかを明らかにするために、「人についての研究」「空間についての研究」「人と空間の相互作用」という3つの軸から、科学的・学術的なアプローチで探究をしています。

感動のメカニズム、空間での感情の変化、床の質感が人の意識に与える影響、うるさくも静かでもない最適な音環境、木材の特性など。多彩な研究を通して見えてくるのは、空間の無限の可能性です。空間づくりに携わる人、そして空間を利用する人に伝えたい、新たな視点と創造のヒントが詰まった一冊です。

目次

はじめに	青野恵太 「歎びと感動学」プロジェクトチーム リーダー
Chapter 1	感動を生み出す空間とは
Chapter 2	感動は測れるのか
Research 1	感動プロファイリング―感動はどのように定義できるか
Column	共同研究者インタビュー 感動のメカニズムと空間デザインの可能性 戸梶亜紀彦氏 東洋大学 社会学部 社会心理学科 教授
Research 2	空間の新しいものさし― 感動と空間の関係を科学的に捉える
Column	共同研究者インタビュー 人の気持ちを理解する技術で感情をモデル化する 菅谷みどり氏 芝浦工業大学 工学部 情報工学科 教授
Chapter 3	交差する空間と感覚
Research 3	床面と認知―空間における床の踏み心地と心の関係性とは
Column	共同研究者インタビュー 触覚が変える空間と人の感情 南澤孝太氏 慶應義塾大学 大学院 メディアデザイン研究科 教授
Research 4	音環境― ちょうどよい賑やかさを生む音環境
Column	共同研究者インタビュー 音環境の設計におけるアノニマスの役割 上田麻理氏 神奈川工科大学 情報学部情報メディア学科 応用音響工学研究室 准教授
Research 5	木の特質― 素材がもたらす感動とは？
Column	共同研究者座談会 企業を越えてつなぐ木の感動と可能性
Chapter 4	歎びと感動学、歩みとその先へ
Discussion	「歎びと感動学」リーダー座談会 ひとりでも多くの人に歎びと感動を 青野恵太 クリエイティブ本部 クリエイティブプロデュースセンター no.10 部長 山口 茜 クリエイティブ本部 未来創造研究所 ビジョンデザイン部 部長 古田陽子 サステナビリティ推進室長
5つの入り口から見えてきた新しい視点	
おわりに	大柳友飛 「空間の歎びと感動学」出版担当者